

# 福原宏幸教授略歴・著作目録



## 福原宏幸教授略歴

1954年8月30日生

### 学歴

1970年4月1日 兵庫県立三原高等学校 入学（3年）  
 1973年3月31日 兵庫県立三原高等学校 卒業  
 1975年4月1日 大阪市立大学経済学部 入学（6年）  
 1981年3月31日 大阪市立大学経済学部 卒業  
 1981年4月1日 大阪市立大学大学院経済学研究科前期博士課程 入学（2年）  
 1983年3月31日 大阪市立大学大学院経済学研究科前期博士課程 修了  
 1983年4月1日 大阪市立大学大学院経済学研究科後期博士課程 進学（5年）  
 1988年3月31日 大阪市立大学大学院経済学研究科後期博士課程 所定単位修得後退学  
 1983年3月31日 経済学修士（大阪市立大学）  
 形成期フランス自動車工業における労使関係—ルノー社を中心に—  
 2015年3月31日 博士（経済学）大阪市立大学  
 アクティベーション政策への挑戦—日本における社会的包摂の可能性を  
 探る—

### 職歴

1988年4月1日 日本学術振興会 特別研究員  
 1990年3月31日 日本学術振興会 特別研究員 退職  
 1990年8月1日 大阪市政調査会 主任研究員  
 1991年9月30日 大阪市政調査会 主任研究員 退職  
 1991年10月1日 大阪市立大学 専任講師（経済学部）  
 1992年10月1日 大阪市立大学 助教授（経済学部）  
 1995年3月15日 大阪市立大学の在外研究員としてフランスのパリ・エブリー大学  
 (L'Université d'Evry) へ留学 ～1996年3月14日  
 2000年4月1日 大阪市立大学 教授（経済学部）  
 2005年4月1日 大阪市立大学大学院 教授（経済学研究科）  
 2009年4月1日 大阪市立大学大学院 経済学研究科 副研究科長 ～2010年3月31日  
 2015年4月1日 大阪市立大学大学院 経済学研究科 研究科長 ～2017年3月31日  
 2017年4月1日 大阪市立大学 社会科学系研究院長 ～2019年3月31日  
 2019年12月11日 大阪市立大学都市研究プラザ 特別研究員（非常勤）～現在に至る  
 2020年3月31日 大阪市立大学大学院 教授（経済学研究科）退職  
 2020年4月1日 大阪市立大学 名誉教授

**非常勤講師**

- 1986年4月1日 三重短期大学法経科 社会政策担当 ～1992年3月31日
- 1987年4月1日 龍谷大学経済学部 社会政策担当 ～1992年3月31日
- 2009年4月1日 大阪府立大学人間社会学研究科・社会福祉分野 福祉政策論特論 A 担当  
～2015年3月31日
- 2009年4月1日 大阪府立大学人間社会学部・社会福祉分野 福祉政策論担当 ～2015年  
3月31日
- 2012年4月1日 関西学院大学大学院人間福祉学研究科 社会的排除/包摂研究担当  
～2019年3月31日
- 2012年4月1日 関西学院大学人間福祉学部 社会的排除/包摂論担当 ～2019年3月31日
- 2020年4月1日 大阪市立大学経済学部 労働経済論担当 ～2021年3月31日
- 2020年4月1日 大阪市立大学大学院生活科学研究科 総合福祉・心理臨床科学講座  
オムニバスで「国際比較研究特論 A」「国際比較研究特論 B」「福祉政策  
学特論 B」担当 ～現在に至る
- 2020年4月1日 吉備国際大学農学部地域創成農学科「ソーシャル・ファーム（社会的企  
業）論」担当 ～現在に至る  
賞罰なし

**主な所属学会**

日本社会福祉学会 社会政策学会 貧困研究会 居住福祉学会 労働社会学会

**主な社会的活動 学術関係**

- 科学研究費委員会審査委員（共生・排除分野）（2011年度・2012年度）
- 科学研究費委員会審査委員（基盤研究 A・B 社会福祉学分野）（2017年度）
- 協同総合研究所 研究員（2012年5月1日～）
- 社会政策学会 社会的排除/包摂部会 世話人（2012年7月～）
- 部落解放・人権研究所 第5部門（包摂型まちづくりあり方研究会）座長（2013年4月～）
- 社会福祉士国家試験委員会 委員（幹事委員）（2013年6月～2020年3月31日）
- 学術雑誌『貧困研究』編集委員（2007年12月～2020年3月）
- 同 編集委員長（2016年4月～2020年3月）
- 日本社会福祉学会 査読委員（2016年4月～）
- 協同総合研究所 アドバイザー（2020年4月1日～）
- NPO 暮らしづくりネットワーク北芝 組織マネジメント研究会 座長（2020年9月1日～）

**主な社会的活動 行政, その他の関係 最近10年余りのもの**

- 大阪市政調査会 理事（1998年4月1日～）
- 大阪府済生会 人権・人材養成研究所運営委員会 委員（2008年2月1日～）

- 八尾市同和問題委員の会 座長（2008年4月1日～2019年6月31日）
- 八尾市人権尊重の社会づくり審議会 委員，同審議会部落差別解消推進専門部会 部会長  
（2019年7月1日～）
- 大阪府商工労働部雇用推進室開設「おおさかパーソナル・サポート事業調査研究部会」研究部  
会長（2010年11月～2013年3月）
- 箕面市生活困窮者自立支援事業推進協議会 座長（2012年4月1日～2016年3月31日）
- 大阪市西成区特区構想有識者座談会 委員（2012年4月1日～2013年3月31日）
- 厚生労働省 日雇労働者等技能講習事業に係る提案書技術審査委員会 審査委員（2014年2月  
1日～）
- 大阪府・市町村就労支援事業推進協議会 委員（2014年4月1日～）
- 大阪市・西成区まちづくり会議 有識者委員（2016年3月1日～）
- 大阪市・西成区まちづくり会議 労働施設検討会議 座長（2016年3月1日～）
- 大阪市・西成区エリアマネジメント協議会 委員（2016年3月1日～）
- 非営利活動法人こどもらぼ（鳥取市） 理事（2017年4月1日～）
- 大阪市・西成区まちづくり会議 公園検討会議 座長（2017年4月1日～）
- 豊中市就労支援事業に関するスーパーバイザー（2019年4月1日～）
- 大阪府障がい者等の職場環境整備等支援組織認定等審議会 委員（2019年4月1日～）
- 同審議会 障がい者雇用貢献企業顕彰審査部会 部会長（2019年4月1日～）

## 福原宏幸教授 著作目録

## 著書

- 『大正・大阪・スラム—もうひとつの日本近代史』共著 新評論 1986.6 杉原薫 玉井金五, 木曾順子, 福原宏幸, 佐々木信彰, 杉原達 95-160 頁。
- 『大阪社会労働運動史 第4巻』共著 大阪社会運動協会 1991.6 西村豁通, 木村敏男, 中岡哲郎, 福原宏幸, 他多数 314-338 頁。
- 『ミッテラン政権下のフランス』共著 ミネルヴァ書房 1993.3 西堀文隆, 山下章夫, 福原宏幸, 奥村和久, 清水浩一, 北島健一, 藤井秀樹, 岡村茂, 畠山敏夫, 大和田敢太 51-76 頁
- 『新都市自治論—魅力ある都市を目指して』共著 ぎょうせい 1993.3 澤井 勝, 中畑秀樹, 福原宏幸, その他 259-277 頁。
- 『グローバル時代の労働と生活—そのトータリティを求めて』共著 ミネルヴァ書房 1993.7 竹中恵美子, 朝日吉太郎, 福原宏幸, その他 3-28 頁。
- 『大阪社会労働運動史 第5巻』共著 大阪社会運動協会 1994.4 中岡哲郎 吉村励, 福原宏幸, その他多数 412-446 頁
- 『大交50年史』共著 大阪市交通労働組合 1995.12月 吉村励, 福原宏幸, その他 185-256 頁, 473-482 頁。
- 『個人を共同体の社会科学』共著 ミネルヴァ書房 1996.3 西村豁通, 竹中恵美子, 中西洋, 福原宏幸, その他 261-280 頁
- 『新修大阪の部落史(下)近現代』共著 解放出版社 1996.4 渡辺俊雄, 福原宏幸, 朝治武, 吉村智博, 他 164-192 頁
- 『大阪社会労働運動史 第8巻』共著 大阪社会運動協会 1999.10 中岡哲郎, 竹中恵美子, 熊沢誠, 福原宏幸, 他多数 198-214 頁
- 『現代日本における差別と人権 第4版』共著 解放出版社 2002.3 友永健三, 新崎盛暉, 林陽子, 平野裕二, 東野正尚, 楠敏雄, 竹内渉, 金東勲, 田中宏, 福原宏幸 214-231 頁。
- 『ワークフェア—排除から包摂へ?』(新しい社会政策の課題と挑戦 第1巻)共著 法律文化社 2007.11 埋橋孝文, 居神浩, 田中総一郎, 久本貴志, 大沢真知子, 湯沢直美, 中原耕, 布川日佐史, 福原宏幸, 要宏輝 217-238 頁。
- 『社会的排除/包摂と社会政策』(新しい社会政策の課題と挑戦 第2巻)共著 法律文化社 2007.12 福原宏幸, 中村健吾, 亀山俊朗, 山口浩平, 阿部彩, 吉中季子, 阪東美智子, 青木紀, 樋口昭彦 11-39 頁。
- 『すぐそこにある貧困:かき消される野宿者の尊厳』共著 法律文化社 2010.10 小久保哲郎,

- 安永一郎, 生田武志, 加藤亮子, 奥村健, 湯浅誠, 福原宏幸, 他 215-222 頁。
- 『世界の貧困と社会保障—日本の福祉政策が学ぶべきもの』共著 明石書店 2012.10 渡辺博明, 山田眞知子, 木下武徳, 丸谷浩介, 布川日佐史, 福原宏幸, 脇田滋 151-179 頁
- 『21 世紀のヨーロッパ福祉レジーム：アクティベーション改革の多様性と日本』共著 糺の森書房 2012.10 福原宏幸, 中村健吾, 廣瀬真理子, 嶋内健, 居神浩, 松原仁美, 嵯峨嘉子, 土岐智賀子, 太田美帆, 柳原剛司, 249-288 頁。
- 『いのちを守る都市づくり—「課題編」東日本大震災から見えてきたもの—』共著 大阪公立大学共同出版会, 2012.10 三田村宗樹, 森一彦, 重松孝昌, 中條壮大, 生田英輔, 山本啓雅, 作田裕美, 福原宏幸 142-145 頁
- 『いのちを守る都市づくり 02 アクション編』共著 大阪公立大学共同出版会, 2013.3 三田村宗樹, 森一彦, 重松孝昌, 中條壮大, 生田英輔, 山本啓雅, 作田裕美, 福原宏幸 156-159 頁
- 『脱・貧困のまちづくり「西成特区構想」の挑戦』共著 明石書店 2013.9 鈴木亘, 原昌平, 福原宏幸, 高取毛敏雄, 松村嘉久, 水内俊雄, 寺川政司, ありむら潜 51-59 頁。
- 『社会福祉学のフロンティア』共著 有斐閣 2013.10 岩崎晋也, 岩間伸之, 原田正樹, 坂田周一, 畑本裕介, 坪洋一, 金子光一, 秋元美世, 岩田雅美, 福原宏幸, その他 28-31 頁。
- 『自治体セーフティネット—地域と自治体ができること』共著 公人社 2014.3 福原宏幸, 五石敬路, 櫻井純理, 分林康次, 澤井勝, 室田信一, 松本淳, 吉中季子 72-95 頁。
- 『ユーロ危機と欧州福祉レジームの変容：アクティベーションと社会的包摂』共著 明石書店 2015.8 福原宏幸, 中村健吾 柳原剛司, 中村健吾, 居神浩, 松原仁美, 太田美帆, 嶋内健, 土岐智賀子, ニコライ・ネノフスキー, ジェコ・ミレフ 272-279 頁。
- 『これがホントの生活保護改革—生活「保護」法から生活「保障」法へ』共著 明石書店 2018.8 尾藤廣喜, 桜井啓太, 田川英信, 小久保哲郎, 吉永純, 和久井みちる, 嶋田佳広, 高田清恵, 所道彦, 福原宏幸, 木下武徳, 五石敬路 98-101 頁
- 『岐路に立つ欧州福祉レジーム』共著 ナカニシヤ書店 2020.9 福原宏幸, 中村健吾, 柳原剛司, 嵯峨嘉子, 松原仁美, 廣瀬真理子, 嶋内健, 土岐智賀子, 太田美帆, 亀山俊朗, 平野寛弥 187-210 頁
- 『水俣に生きた労働者—チッソと新日窒労組の 59 年』共著 明石書店 2021.3 富田義典, 花田昌宣, 石井まこと, 磯谷明德, 福原宏幸, 鈴木玲, 井上ゆかり 252-293 頁
- 学術論文**
- 「形成期フランス自動車工業の危機とルノー-社の対応」単著『経済学雑誌』(大阪市立大学) 86 巻 4-5 号 1985.11 87-106 頁
- 「形成期フランス自動車工業の労働争議/労使関係の成立過程 (1)」単著『季刊経済研究』(大阪市立大学) 9 巻 4 号 1987.3 37-63 頁

- 「近代日本スラムの労働＝生活過程—大阪での軌跡」単著『社会政策学会年報』32号 1988.5  
167-187頁
- 「形成期フランス自動車工業の時短闘争—労使関係の成立過程(2)」単著『龍谷大学経済経営  
論集』29巻3号 1989.12 46-66頁
- 「フランス自動車工業の外国人労働者とME化」単著『経済学雑誌』(大阪市立大学)91巻2  
号 1990.8 38-63頁
- 「大都市と外国人」単著『市政研究』91号 1991.1 163-174頁
- 「生活優先の時代と労働組合」単著『労働調査時報』817号 1992.2 18-24頁
- 「時短の時代と地方自治体の役割」単著『市政研究』96号 1992.7 32-57頁
- 「ルノー工場の科学的管理法導入と企業内労使関係：労使関係の成立過程(3)」単著『経済学  
雑誌』(大阪市立大学)93巻2号 1992.7 32-57頁
- 「アジアの労働力移動から見た外国人労働者」単著『部落解放』349号 1992.11 18-23頁
- 「ゆとり時代を生きる自治体労働者」単著『市政研究』98号 1993.1 113-122頁
- 「80年代フランスの労使関係と労働市場フレキシビリティ」単著『経済学雑誌』(大阪市立大  
学)94巻3-4号 1994.3 45-60頁
- 「環境問題と自治体労働組合の役割」単著『市政研究』102号 1994.1 79-88頁
- 「近代大阪の部落の労働＝生活実態：都市発展の文脈において考える」単著『部落解放研究』  
112号 1996.10 9-14頁
- 「地方分権を担う自治体の行政組織と人材」単著『市政研究』116号 1997.8 26-35頁
- 「多様化する日本の雇用形態」単著『経済学雑誌』(大阪市立大学)99号(別冊) 1998.4 42  
-50頁
- 「自治体人事管理・人材育成の展望—大阪市を中心に」単著『市政研究』123号 1999.4 42-  
61頁
- 「ホームレス問題と日本福祉国家」単著『Regulation, Institutions & Contemporary Econo-  
mies』14号 1999.5 1-7頁
- 「日雇労働者の高齢化・野宿化問題：大阪に即して」共著『社会政策学会誌』1号 1999.6  
福原宏幸, 中山徹 21-37頁
- 「ホームレスと雇用政策」単著『市政研究』124号 1999.7 25-33頁
- 「韓国における野宿者問題の現状と対応策」単著『Shelter-less』8号 2000.1 8-20頁
- 「日雇労働者・野宿生活者の現状と課題」単著『部落解放』464号 2000.1 235-244頁
- 「大阪市内定着型野宿生活者の生活実態とニーズ」単著『Shelter-less』5号 2000.3 3-14頁
- 「ホームレスと都市社会」単著『CEL』(大阪ガスエネルギー・文化研究所)53号 2000.6  
58-60頁
- “Homeless people and civil society in urban Japan”, 単著 *Report of 2nd International*

- Critical Geography Conference*, No. 2 2000.12 113-124 頁
- 「社会権規約委員会への NGO レポート ホームレスの人々」共著『Shelter-less』9号 2001.2  
福原宏幸, 穂坂光彦, 安江鈴子 93-99 頁
- 「エコノミストレポート 春まだ遠しの日本ホームレス対策」共著『エコノミスト』79巻11号  
2001.3 小玉徹, 中村健吾, 福原宏幸 72-75 頁
- 「日本における人的資源開発の現状と課題」単著『韓国職業能力開発院紀要』9号 2001.9  
56-66 頁
- 「食物循環システムの構築に向けて—シチズンホームライフ協会の取り組みから」単著『CEL』  
(大阪ガスエネルギー・文化研究所) 59号 2001.12 58-63 頁
- 「西成差別の実態とインナーシティにおけるまちづくり—大阪市西成区を事例として」共著  
『空間・社会・地理思想』7号 2002.3 水内俊雄・福原宏幸・花野孝史・若松司・原口  
剛 17-37 頁
- 「現代大都市のホームレス問題とインナーシティにおけるまちづくり—寄せ場, 同和地区, 在  
日外国人集住地区を例にして」共著『住宅総合研究財団研究年報』29号 2002.3 水内  
俊雄・橋爪紳也・福原宏幸 369-380 頁
- 「EU におけるホームレス支援政策と Social Exclusion」単著『経済学雑誌』(大阪市立大学)  
102巻3-4号 2002.3 3-11 頁
- 「欧州における社会的排除との闘い: その動向と課題」単著『部落解放研究』145号 2002.4  
31-41 頁
- 「西成差別実態調査報告: 地域差別を考える」共著『市政研究』140号 2003.7, 福原宏幸・  
水内俊雄・花野孝史 108-117 頁
- 「西成差別の現状と課題: 市民アンケート調査の結果から」共著『部落解放研究』154号  
2003.10, 福原宏幸・水内俊雄・若松司・原口剛 58-71 頁
- 「フランス国鉄・地下鉄各労働組合における社会貢献活動に学ぶ」単著『都市と公共交通』28  
号 2003.12 22-47 頁
- 「EU 雇用戦略がめざすもの」単著『部落解放研究』16号 2005.4 56-66 頁
- 「日本における自立支援と社会的包摂: 社会的困難を抱える人々への支援をめぐる」単著  
『経済学雑誌』106巻2号 2005.9 59-83 頁
- 「ホームレス問題と雇用政策: その限界と可能性を問う」単著『都市問題研究』57巻11号  
2005.11 71-87 頁
- 「社会的包摂政策を推進する欧州連合—そのプロセスと課題」単著『生活経済政策』115号  
2006.8 14-17 頁
- 「若者の雇用と社会的排除: フランスの若者暴動が問うもの」単著『ヒューマンライツ』(部落  
解放・人権研究所) 223号 2006.10 32-39 頁

- 「地域雇用政策の課題：就労困難層支援と公正労働を中心に」単著『市政研究』154号 2007.2  
46-56頁
- 「市場原理主義と社会的排除—それへの選択肢」単著『部落解放』578号 2007.2 250-263頁
- 「非正規雇用の増加と格差拡大問題」単著『じんけん』（滋賀県人権センター）316号 2007.8  
11-15頁
- 「現代日本社会とホームレス：10年の歩みを振り返って」単著『部落解放』590号 2007.12  
12-19頁
- 「日本における『労働能力を持つ貧困層』とワークフェア—対峙する二つの政策潮流」単著  
『HWAN DONG HAE REVIW (Far-East Regional Studies)』（HANDON GLOBAL  
UNIVERSITY）4巻1号 2008.3 169-184頁
- 「稼働能力を持つ貧困者と就労支援政策：対峙する二つの政策潮流」単著『経済学雑誌』（大阪  
市立大学）109巻2号 2008.9 1-16頁
- 「福祉から就労へ」の政策転換と自治体」単著『市政研究』162号 2009.1 28-45頁
- 「就職困難者問題と地域就労支援の取り組み：新たな前進のために」単著『部落解放』610号  
2009.2 171-176頁
- 「社会的排除・包摂論の可能性と日本社会—理論的背景を踏まえて」単著『お茶の水大学グロー  
バル COE プログラム「格差センシティブな人間発達科学の創成」PROCEEDINGS 07  
Disciplinary Linkage Project』（基礎問題プロジェクト報告書）2009.3 48-53頁
- 「就職困難者の貧困と社会的排除：大阪の地域就労支援事業相談者実態調査から見えてきたも  
の」単著『部落解放研究』187号 2009.10 61-75頁
- 「深刻さを増す若年者雇用問題」単著『季刊フォーラム 教育と文化』58号 2010.1 53-60頁
- 「日雇労働者・野宿生活者の現状と課題」単著『部落解放』464号 2010.1 235-244頁
- 「ワーキングプアの増加と新たなセーフティネット：社会的包摂の観点から」単著『京都女子  
大学生活福祉学科紀要』6号 2010.2 51-61頁
- 「大阪N地区住民の健康と生活に関する実態調査報告」共著『貧困研究』4号 2010.5 福原  
宏幸・田淵貴大・若松司 143-151頁
- 「ワーキングプアの実態を調査」単著『月刊労働組合』549号 2010.9 42-45頁
- 「日本における就労困難者支援と労働統合型社会的企業の役割：労働市場研究からのアプロ  
ーチ」単著 山口大学『第2回日韓社会的企業セミナー〈資料〉別紙』2010.10 1-13頁
- 「就職困難者の就労と生活—大阪地域就労支援事業相談者調査から（1）基本属性、就職相談と  
就労経験」単著『部落解放研究』190号 2010.11 16-36頁
- 「日本におけるワーキングプア問題と社会的排除：連合・連合総研ワーキングプア調査から」  
単著『フォーラム現代社会学』（関西社会学会）10巻1号 2011.2 62-75頁
- 「就労・雇用状況の推移」単著 大阪市立大学都市研究プラザ『あいりん地域の現状と今後

- ーあいらん施策のありかた検討報告書ー』2011.3 51-56 頁
- 「聞き取り調査によるワーキングプアの実態把握ー連合・連合総研調査から」単著『統計』62 卷3号 2011.3 11-16 頁
- 「ワーキングプア調査によって何を明らかにするのか：現代日本の新しいセーフティネット構想に向けて」単著 連合総合生活開発研究所『ワーキングプアに関する連合・連合総研共同調査研究報告書Ⅱ ー分析編ー ～困難な時代を生きる人々の仕事と生活の実態～』2011.6 1-25 頁
- 「ワーキングプアに対する社会的排除の諸相：雇用・生活実態調査結果から雇用・福祉レジームを検討する」単著『大分大学経済論集』63 卷4号 2011.11 1-25 頁
- 「東北被災地における就職困難者と就労支援：仙台市における仮設住宅入居者調査から」単著『協同の発見』（協同総合研究所）238号 2012.5 76-85 頁
- “Geographically-based discrimination is a social determinant of mental health in a deprived or stigmatized area in Japan: A cross-sectional study”, 共著 Tabuchi Takahiro, Fukuhara Hiroyuki, Iso Hiroyasu. *SOCIAL SCIENCE & MEDICINE* 75 (6) 2012.9 1015-1021 頁
- 「困難な時代を生きるワーキングプア：その問題解決に向けた今日的課題」単著『連合総合生活開発研究所・DIO』（連合総研レポート）275号 2012.10 8-11 頁
- 「全国部落青年の雇用・生活実態調査結果（3）就労実態」単著『部落解放研究』196号 2012.11 29-40 頁
- 「日雇労働市場の将来と西成労働福祉センターの今後のあり方」単著『ホームレスと社会』7号 2012.12 64-67 頁
- 「支援付きの中間的就労や社会的企業による就労の確保」単著 ホームレス資料センター『生活困窮者・孤立者の就労による生活再建の先進事例とあるべき仕組みに関する調査研究事業』（厚生労働省平成24年度セーフティネット支援対策等事業費補助金 社会福祉推進事業報告書）2013.3
- 「日本社会の再生：社会的つながりと社会連帯経済，そして社会福祉の役割」単著『Human Welfare（関西学院大学人間福祉学部）』5 卷1号 2013.3 89-97 頁
- 「大阪における2つの健康格差調査：同和地区調査と大阪市民調査」単著『国際大阪市立大学ワークショップ 健康格差と都市の社会経済構造 ー歴史と現在から探るー』2013.6 97-124 頁
- 「社会的排除/包摂と社会連帯経済：社会的承認論からのアプローチ」単著『福祉労働』137号 2013.7 93-103 頁
- 「生活困窮者自立支援制度の支援フレームワークとその課題」単著『にじ』（協同組合経営研究誌）642号 2013.7 40-48 頁

- 「貧困・社会的排除に取り組むパーソナル・サポート・モデル事業：大阪の事例から」単著『ヒューマンライツ』（部落解放・人権研究所）298号 2013.10 48-54頁
- 「日本における生活困窮者支援のあり方：中間的就労と社会的企業の役割を中心に」単著 協同総合研究所『社会的事業体に取り組む就労準備事業から持続性のある中間的就労創出に向けた制度・支援に関する調査研究』（厚生労働省 平成25年度 セーフティネット支援対策等事業費補助金 社会福祉推進事業報告書）2014.3 211-215頁
- 「フランスにおける生活困窮者問題と中間的就労」単著 協同総合研究所『社会的事業体に取り組む就労準備事業から持続性のある中間的就労創出に向けた制度・支援に関する調査研究』（厚生労働省 平成25年度 セーフティネット支援対策等事業費補助金 社会福祉推進事業報告書）2014.3 155-164頁
- 「社会的排除/包摂と社会的なもの（ル・ソシアル）」単著『CEL』（大阪ガス エネルギー・文化研究所）106号 2014.3 34-37頁
- “Individualized and institutionalized residential place-based discrimination and self-rated health: a cross-sectional study of the working-age general population in Osaka city, Japan, 共著 Tabuchi Takahiro, Nakaya Tomoki, Fukushima Wakaba, Matsunaga Ichiro, Ohfuji Satoko, Kondo Kyoko, Inui Miki, Sayanagi Yuka, Hirota Yoshio, Kawano Eiji, Fukuhara Hiroyuki, *BMC PUBLIC HEALTH* 14 2014.5
- 「包摂型地域社会のあり方を考える：被差別部落と生活困窮者支援」単著『部落解放研究』201号 2014.10 176-194頁
- “Determinants of participation in prostate cancer screening: A simple analytical framework to account for healthy-user bias”, 共著 Tabuchi Takahiro, Nakayama Tomio, Fukushima Wakaba, Matsunaga Ichiro, Ohfuji Satoko, Kondo Kyoko, Kawano Eiji, Fukuhara Hiroyuki, Ito Yuri, Oshima Akira, *CANCER SCIENCE* vol. 106 no. 1 2015.1 108-114頁
- 「社会的排除をもたらす『不利』の連鎖」単著『社会と調査』14号 2015.2 20-27頁
- 「生活困窮者自立支援法と隣保館の役割」単著『部落解放』706号 2015.2 71-78頁
- 「日本における生活困窮者支援事業の到達点と課題—アクティベーション類型の視点から」単著 協同総合研究所『地域協働による多層的・多層的な就労支援・社会的居場所創出ネットワーク構築に関する調査研究』（平成26年度 セーフティネット支援対策等事業費補助金 社会福祉推進事業報告書）2015.3 127-136頁
- 「生活困窮者の就労支援と社会的居場所づくり」単著 協同総合研究所『地域協働による多層的・多層的な就労支援・社会的居場所創出ネットワーク構築に関する調査研究』（平成26年度 セーフティネット支援対策等事業費補助金 社会福祉推進事業報告書）2015.3 106-111頁

- 「生活困窮者自立支援モデル事業の5市区比較分析—その成果と課題」単著 協同総合研究所『地域協働による多次元・多層的な就労支援・社会的居場所創出ネットワーク構築に関する調査研究』（平成26年度 セーフティネット支援対策等事業費補助金 社会福祉推進事業報告書）2015.3 51-59頁
- 「『同和地区を中心とした相談支援と包摂型社会創出の可能性』を組むにあたって」単著『部落解放研究』203号 2015.10 2-8頁
- 「大阪府における総合相談事業・隣保館事業等の現状と課題」単著『部落解放研究』203号 2015.10 158-175頁
- 「中間的就労の場づくりとその可能性」単著『協同の発見』（協同総合研究所）276号 2015.11 2-4頁
- 「大阪の同和地区を中心とした相談支援の現状と課題」単著『部落解放』722号 2016.2 91-101頁
- 「働く人・働きたい人の人権と社会的包摂」単著『研究紀要』（兵庫県人権啓発協会）17号 2016.3 3-17頁
- 「リスク集積地域における貧困・剥奪・不健康と社会資源による共助的支援の展開：大阪市西成区の事例を通して」単著『貧困研究』16号 2016.7 22-34頁
- 「包摂型地域社会とコレクティブタウン北芝の取り組み」単著『部落解放研究』207号 2017.11 2-19頁
- “Determinants of High-School Dropout: A Longitudinal Study in a Deprived Area of Japan”, 単著 Tabuchi Takahiro, Fujihara Sho, Shinozaki Tomohiro, Fukuhara Hiroyuki, *Journal of Epidemiology* vol. 28 no. 11 2018.3 458-464頁
- 「ワーキングプア研究の現状と政策課題」単著『貧困研究』21号 2018.12 5-11頁
- “Japan Association for Social Policy Studies, 137<sup>th</sup> Conference Common Theme: Consider ‘Half Welfare, Half Employment’”, 単著 *JASPS Bulletin (Japan Association for Social Policy Studies)* no. 3 2019.3 1-4頁
- 「日本の雇用制度と貧困・社会的排除」単著『ひょうご部落解放』172号, 2019.4 34-40頁
- 「座長報告：『半福祉・半就労』を考える」単著『社会政策』（社会政策学会誌）11巻1号 2019.5 5-10頁
- 「小特集に寄せて：生活困窮者の社会参加・就労に向けてのNPO・社会的企業の役割」単著『社会政策』11巻2号 2019.11 54-57頁
- 「中高齢の生活困窮者・被保護者に対する就労支援のあり方」単著『貧困研究』23号 2019.12 4-15頁
- 「被保護者の就労支援時アセスメントに関する調査研究：その成果と課題」単著『協同の発見』332号 2020.8 8-14頁

## その他

### ○座談会・インタビュー記録

「インタビュー この人に聞く 第4回 ありむら潜：福祉労働者・漫画家の視点から釜ヶ崎の変容を見る」『貧困研究』4号 2010.6 インタビュアー：福原宏幸 98-117頁

「インタビュー この人に聞く 第7回 今井誠二：震災の地・仙台で継続するホームレス支援活動」『貧困研究』7号 2011.11 インタビュアー：福原宏幸 97-109頁

「誌上シンポジウム ワーキングプアと地域福祉」『ソーシャルアクション』創刊号 2014.1 竹信三恵子・勝部麗子・福原宏幸 1-8頁。

「座談会 日本における貧困研究を振り返って：これまでの20年とこれからの展望」『貧困研究』2号 2018.5 岩田正美・青木紀・垣田裕介・桜井啓太・福原宏幸 2-27頁

### ○書評

「書評論文 安保則夫『ミナト神戸 コレラ・ベスト・スラム 社会的差別形成史の研究』ひょうご部落解放人権研究所」『龍谷大学経済経営研究』31巻2号 1991.8月 59-65頁

「書評論文 大山典宏『生活保護 vs ワーキングプア—若者に広がる貧困』PHP新書」『貧困研究』1号 2008.9 97-106頁。

### ○事典項目

「同和問題と社会福祉」日本社会福祉学会 事典編集委員会編『社会福祉学事典』2014.5 534-535頁

「社会的排除リスクが誘発する貧困」リスク学事典編集委員会編『リスク学事典』丸善出版 2019.6 624-627頁

### ○翻訳

F. ギャスパール, C. シュレーベル『外国人労働者のフランス—排除と参加』共訳 法律文化社 1989.2 林 信弘, 岡村茂, 北島健一, 福原宏幸 139-195頁

A. S. バラ, F. ラベール『グローバル化と社会的排除：貧困と社会問題への新しいアプローチ』共訳 昭和堂 2005.4 福原 宏幸, 中村 健吾, 松原仁美, 安木新一郎, 門東真央, 浅居孝彦, 表弘一郎 75-114頁

マリーズ・マルプサット著「フランスにおける貧困研究」単訳『貧困研究』2号 2009.5 124-135頁。

### 受託調査研究の報告書 本人が代表のもの

『日雇労働者、野宿生活者問題の現状と連合大阪の課題』連合大阪 あいりん地区問題研究会 1998.10

『西成差別実態調査報告書』財団法人ヒューマンライツ教育財団委託調査事業 2002.4

『2004-2007年度研究事業報告 社会的包摂政策への途—排除から包摂へ—』大阪府済生会人権研究所 2008.3

- 『ワーキングプアに関する連合・連合総研共同調査研究報告書Ⅰ—ケースレポート編—困難な時代を生きる120人の仕事と生活の経歴』連合総合生活研究所 2010.6
- 『平成22年度 大阪府緊急雇用基金事業 労働条件・環境に関する実態調査 調査報告書』大阪府 2011.3
- 『ワーキングプアに関する連合・連合総研共同調査研究報告書Ⅱ—分析編—～困難な時代を生きる人々の仕事と生活の実態～』連合総合生活開発研究所 2011.6
- 『おおさかパーソナル・サポート・モデルプロジェクト事業「中間まとめ」～大阪府・豊中市・吹田市・箕面市～』大阪府商工労働部 2012.3
- 『厚生労働省平成23年度社会福祉推進事業「東日本大震災復興期におけるあるべき居住セーフティネットに関する調査研究事業」調査報告書』パーソナルサポートセンター（仙台）座長：新里宏二・福原宏幸 2012.3
- 『西成区北西部健康実態調査結果 つながりづくりで健康づくり—まちづくりへの参加が健康づくりの第一歩—』西成区北西部まちづくり委員会 2012.10
- 『おおさかパーソナル・サポート・モデルプロジェクト事業 大阪におけるパーソナル・サポート事業からみえてきた生活困窮者支援の諸課題』大阪府商工労働部 2013.3
- 『箕面市パーソナル・サポート・サービス 評価・検証報告書』箕面市パーソナル・サポート・サービス推進協議会 2013.3
- 『厚生労働省平成24年度社会福祉推進事業「生活困窮者・孤立者の就労による生活再建の先進事例とあるべき仕組みに関する調査研究事業」報告書』ホームレス資料センター 2013.3
- 『厚生労働省平成24年度社会福祉推進事業「社会的困窮者・就労困窮者の現状と各種支援策の効果に関する調査研究」報告書』連合総合生活開発研究所 2013.3
- 『厚生労働省平成25年度社会福祉推進事業「社会的事業者が取り組む就労準備事業から持続性のある中間的就労創出に向けた制度・支援に関する調査研究」報告書』協同総合研究所 2014.3
- 『厚生労働省平成25年度社会福祉推進事業「東日本大震災で生じた地域福祉資源の実態および社会的企業化を促進する仕組みに関する調査研究事業」報告書』パーソナルサポートセンター（仙台市）座長：新里宏二・福原宏幸 2014.3
- 『厚生労働省平成26年度社会福祉推進事業「地域協働による多次元的・多層的な就労支援・社会的居場所創出ネットワーク構築に関する調査研究」報告書』協同総合研究所 2015.3
- 『箕面市委託モデル事業 箕面市生活困窮者自立促進支援モデル事業 平成25・26年度事業報告書』NPO法人暮らしづくりネットワーク北芝 2015.3
- 「特集 同和地区における相談支援と包摂型社会創出の可能性」『部落解放研究』203号 部落解放・人権研究所・包摂型地域社会あり方調査研究会 2015.10
- 『あいりん地域労働者の就労・地域生活に関する実態とニーズに関する調査報告書』大阪府商

工労働部委託調査事業 2018.3

『厚生労働省令和元年度社会福祉推進事業「被保護者に対する就労支援時のアセスメントに関する調査研究」報告書』協同総合研究所 2020.3

#### 口頭発表

「フランス自動車産業における労使関係の形成—1912～13年ルノー工場での争議を中心として」社会政策学会第68回大会自由論題報告 青山学院大学 1984.5.20

「近代日本スラムの労働＝生活過程—大阪の軌跡」社会政策学会第74回大会自由論題報告 一橋大学 1987.5.16

「大阪日雇労働者問題の現状—実態調査に即して」社会政策学会第94回大会自由論題報告 千葉大学 1997.5.17 共同報告：中山徹・福原宏幸

「日雇労働者の高齢化と労働市場—大阪に即して」社会政策学会第96回大会共通論題：「日雇労働者・ホームレスと現代日本」日本大学 1998.6.6 招待報告

“Homeless people and civil society in urban Japan” 2nd International Critical Geography Conference, in Seoul 2000.8.11

「EUにおけるホームレス問題と Social Exclusion」社会政策学会第103回大会 テーマ別分科会「欧米諸国におけるホームレス問題」（座長：福原宏幸）東北学院大学 2001.10.20

「フランスにおけるホームレス支援策—就労支援策を中心に」社会政策学会第103回大会 テーマ別分科会「欧米諸国におけるホームレス問題」（座長：福原宏幸）東北学院大学 2001.10.20

「日本における社会的包摂に向けた取り組みと課題—EU 社会的包摂政策を踏まえて」貧困研究会第1回研究大会 分科会論題「社会的包摂政策の現在—欧州と日本」法政大学市ヶ谷キャンパス 2008.10.18 共同報告：中村健吾, 福原宏幸

「社会的排除/包摂論の可能性と日本社会—理論的背景を踏まえて」お茶の水大学グローバルCOEプログラム研究会 共通論題「格差センシティブな人間発達科学の創成」2009.3.10 招待報告

「大阪地域就労支援事業相談者の貧困と社会的排除—調査報告から」貧困研究会第2回研究大会 2009.10.17 共同報告：内田龍史, 李嘉永, 福原宏幸

「大阪N地域住民の健康と生活に関する実態調査報告—健康と貧困・社会的排除の連鎖」貧困研究会第2回研究大会 2009.10.17 共同報告：田淵貴大, 若松司, 四井恵介, 福原宏幸

「フランスにおける社会的包摂政策の現在—就労連帯所得と社会的連帯経済の制度的連関と課題」社政策学会第125回大会 テーマ別分科会「フランスにおける社会的包摂政策の到達点と課題」（座長：福原宏幸）2012.10.1 長野大学

「日本社会の再生—社会的つながりと社会連帯経済, そして社会福祉の役割」日本社会福祉学会第60回秋季大会開催校企画シンポジウム 共通論題「日本社会の再生と社会福祉学の

- 役割一人・地域・制度のつながりにおける社会福祉の領域と境界」関西学院大学 2012.10.21 招待報告
- 「大阪における二つの健康格差調査—同和地区調査と大阪市民調査」大阪市立大学大学院経済学研究科・文学研究科主催，国際ワークショップ，テーマ「健康格差と都市の社会経済構造—歴史と現在から探る」2013.3.4-5
- 「生活困窮者支援制度の特徴と課題—アクティベーション類型の視点から」社会政策学会第129回大会テーマ別分科会「中間的就労と社会的」岡山大学 2014.10.12
- “The Extension of the Retirement Age and the Current Employment Condition of Middle-Old Aged Persons in Japan: As a Reference Case”, Ministry of Education Korea, Korea Research Institute for Vocational Education & Training, *Global Human Resources Forum 2014 in Korea* 2014.11.5-6
- 「生活困窮者自立支援法の意義と自治体の課題—どう活用するか」同志社大学社会福祉教育・研究支援センター主催シンポジウム 共通論題：「4月からの生活困窮者自立支援法の施行に備える」2014.11.22 招待報告
- 「リスク集積地域における貧困・剥奪・不健康と社会的資源による共助的支援の展開」貧困研究会第8回研究大会 共通論題：「地域が抱える健康・貧困リスク問題への学術的視点」九州大学 2015.12.13 招待報告
- 「生活支援，社会的居場所，就労支援による多元的なまちづくり—大阪・もの押しでの取り組みから」社会政策関連学会協議会シンポジウム 共通論題：「地域の魅力を考える—仕事と暮らしを支える社会政策とは」福島大学 2016.5.14 招待報告
- 「部落青年調査の概要と調査結果から推定できるいくつかの論点」全国大学同和教育研究協議会 2016年春季公開企画シンポジウム 共通論題：「部落青年の現在—生活・教育・被差別・運動参加」大阪市リバティ大阪 2016.6.12 依頼報告
- 「開催にあたっての問題提起：北芝がめざす「誰もが住みやすいまち」は，いったい『なに』でできている？」NPO法人暮らしづくりネットワーク北芝主催“北芝大解剖”コレクティブタウン北芝研究シンポジウム 2017.9.10 司会・問題提起
- 「ベルギーにおける就労参加支援と社会的連帯経済—ブリュッセル首都地域圏を中心に」福祉社会学会，社会政策学会社会的排除/包摂部会 共催シンポジウム 論題「シティズンシップと福祉—EUと日本から考える」大阪市 2017.11.11
- 「座長報告：『半福祉・半就労』を考える」社会政策学会第137回大会 共通論題「『半福祉・半就労』を考える」北海学園大学 2018.9.16日 招待報告
- 「大阪都市圏における不安定層の健康状態と社会的経済的特徴：『大阪市民の社会生活と健康に関する調査』の全体像」社会政策学会第139回大会 テーマ別分科会 論題：大阪都市圏における健康格差とその社会経済特性 法政大学市谷キャンパス 2019.10.20

**文部科学省科学研究費補助金**

基盤研究 C 現代大都市におけるホームレス問題の実態解明と政策提言への地理学的貢献

2000-2001 年度 3,100 千円 (研究分担者)

基盤研究 B EU 諸国におけるホームレスの実態とその対応策についての研究 2000 - 2001

年度 11,900 千円 (研究代表者)

基盤研究 B アジア先進地域におけるホームレス・不法占拠住民問題—日本・韓国・香港の比

較研究 2001-2003 年度 8,600 千円 (研究分担者)

基盤研究 C フランスにおける就職困難者層に対する社会的参入支援事業についての研究

2004-2006 年度 1,700 千円 (研究代表者)

基盤研究 B ホームレスに対する自立支援策の展開と支援のあり方に関する地域比較研究

2007-2009 年度 13,910 千円 (研究分担者)

基盤研究 B 排除から包摂を目指したホームレスの中間居住施設と地域定着事業の支援体系構

築 2007-2009 年度 16,770 千円 (研究分担者)

基盤研究 C ホームレス者の健康支援を通じた社会的包摂の推進に関する研究 2010-2012

年度 4,550 千円 (研究分担者)

基盤研究 C 日本における社会的排除とアクティベーション政策の構築—フランスを参照して

2010-2012 年度 4,290 千円 (研究代表者)。

基盤研究 B 多様化する「不安定居住」層と包摂型居住支援に関する研究 2010-2012 年度

8,580 千円 (研究分担者)

基盤研究 A 東アジアのホームレス支援が創り出すもうひとつのインナーシティ再生の試み

2010-2012 年度 25,740 千円 (研究分担者)

基盤研究 A 東アジアの広義のホームレス支援に基づく包摂型都市生成と支援の地理学の構

築 2013-2016 年度 41,340 千円 (研究分担者)

挑戦的萌芽研究 狭小低家賃住宅の社会住宅化を通じた日本的ジェントリフィケーションの唱

導 2013-2015 年度 3,640 千円 (研究分担者)

基盤研究 C 肝炎ウイルス・がん検診の効果的な受診勧奨モデル：社会経済要因を踏まえた学

際的研究 2013-2015 年度 3,510 千円 (研究分担者)

基盤研究 B フランスの社会的困窮者支援に関する先進地域間比較：就労連帯所得と社会的連

帯経済 2013-2016 年度 12,870 千円 (研究代表者)

挑戦的萌芽研究 困難を抱える子どもの実態と学校・地域社会連携支援システム構築に関する

研究 2014-2017 年度 3,510 千円 (研究代表者)

基盤研究 C 生活困窮者集住地区の実態と包摂型地域社会支援システムの構築の創出に関する

調査研究 2014-2017 年度 4,810 千円 (研究分担者)

基盤研究 B EU の多元的な福祉レジーム改革とシティズンシップ の変容に関する研究

2016-2018 年度 15,990 千円 (研究分担者)

基盤研究 B EU とその加盟国における多様な社会的包摂政策の展開とシティズンシップに関する調査研究 2019-2021 年度 17,290 千円 (研究代表者)

基盤研究 C 地域共生社会づくり・生活困窮者支援と連携した隣保館のあり方についての調査研究 2020-2022 年度 4,290 千円 (研究分担者)

基盤研究 B 大阪大都市圏住民の社会的紐帯と近隣効果の研究：混合研究法による都市社会調査 2020-2023 年度 13,130 千円 (研究分担者)

**その他の政府系研究費補助金**

厚生労働科学研究費補助金 (政策科学推進研究事業) EU 諸国とアメリカにおける Social Exclusion と参入支援施策についての総合的研究 2001~2002 年度 9,800 千円 (研究代表者)

厚生労働科学研究費補助金 (政策科学推進研究事業) 貧困層の健康と社会的排除についての実態調査と地域の社会医療のあり方についての研究 2010~2012 年度 17,692 千円 (研究代表者)

学術振興会・グローバル展開プログラム グローバル化のなかの都市分断と社会的紐帯に関する近隣効果の国際比較研究 2019~2021 年度 25,025 千円 (研究分担者)